

# 1 自己評価及び外部評価結果

## 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4270700323		
法人名	株式会社 翔里		
事業所名	グループホーム翔里		
所在地	長崎県平戸市津吉町1051		
自己評価作成日	令和6年3月13日	評価結果市町村受理日	令和6年4月2日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	<a href="http://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/42/index.php">http://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/42/index.php</a>
----------	---

## 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人 ローカルネット日本評価支援機構		
所在地	長崎県島原市南柏野町3118-1		
訪問調査日	令和6年3月18日		

## 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

本年度もコロナウイルス等の影響でなかなか外部との交流は実現することは出来なかったが利用者様が退屈しないように、毎日の体操や家事手伝いをして頂いたり、読書やパズル、絵合わせカード等で楽しんで頂いた。受診対応は可能な限りご家族にお願いして家族との交流は出来たと思う。スタッフも協力的で急な勤務交代や休日出勤等快く引き受けてくれる。

## 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

ホームは自然豊かで閑静な場所に立地しており、以前病院だった建物の1階を書番館、2階を式番館として運営している。毎朝、窓を開けて換気しEM菌を用いて拭き掃除を実施しており、臭気は無く清潔な住環境が整っている。隣接ホームと合同で運営推進会議、避難訓練、各種委員会を実施し、職員間の協力・連携体制を整備している。平戸福祉祭りには職員と一緒に制作した作品を出展したり、毎月訪れる移動図書館より紙芝居や本を借り、入居者が紙芝居や本の読み聞かせをするなど楽しんでいる。献立や行事食は各ユニット毎に立てられ、行事食には七夕まつりにはそうめん流し、敬老会にはバイキング・弁当、ひな祭りにはひな人形を模した寿司などを提供し楽しんでいる。理念を基に職員は、入居者の状況に合わせたその時の最善の対応を心がけており、入居者、職員が共に喜び楽しく生活できるよう取り組んでいる。

## V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印		項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

## 自己評価および外部評価結果

自己	外部	項目	自己評価		外部評価	
			実践状況(ユニット名: 壱番館)	実践状況(ユニット名: 弐番館)	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>						
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	各ユニットの申し送りの際に唱和するようにしている。	各ユニットの申し送りの際に唱和するようにしている。弐番館独自の理念も作り唱和している。	私たちは介護を志「心の目」を持って地域の人々に接し、「家庭的で暖かな雰囲気」「生きがい」「人間としての尊厳」をモットーに介護に専念する姿勢を約束します。との理念は、朝の申し送りの後、職員全員で唱和し確認している。理念を基に職員は、入居者の状況に合わせたその時の最善の対応を心がけ、入居者・職員が共に喜んで楽しく生活できるよう取り組んでいる。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	コロナウィルス感染防止の為面会制限を行っているが広報誌を配布している。地域の理容師に訪問して頂き散髪をお願いしている。その際、検温、消毒をして頂いている。入居前に利用していた美容室を定期的にご利用している。送迎も行っている	コロナウィルス感染防止の為面会制限を行っているが広報誌を配布している。地域の理容師に訪問して頂き散髪をお願いしている。その際、検温、消毒をして頂いている。入居前に利用していた美容室を定期的にご利用している。送迎も行っている	平戸福祉祭りには、職員と共に入居者が作成した作品を出展したり、毎月永田図書館が訪れ、紙芝居や本を読んで楽しまれている。コロナ禍前は、小中学校の福祉体験を受け入れていたが、現在は自粛している。今後、コロナの状況をみながら受け入れを再開する意向である。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	運営推進会議で民生委員やご家族の方に状況説明を行っている。	運営推進会議で民生委員やご家族の方に状況説明を行っている。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	議事録はご家族の方配布し意見、質問にも答えている。職員にも議事録を閲覧したり会議後口頭で伝えている。	議事録はご家族の方配布し意見、質問にも答えている。職員にも議事録を閲覧したり会議後口頭で伝えている。	運営推進会議は市職員、老人会会長、民生委員3名、家族、入居者が参加して開催している。入居者の現在の状況、課題、ヒヤリハット、事故報告、意見交換を行い運営に活かしている。議事録は家族にも配布し運営状況の周知と透明化を図っている。	

自己	外部	項目	自己評価		外部評価	
			実践状況(ユニット名: 壱番館)	実践状況(ユニット名: 貳番館)	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者とは日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	市の福祉課介護保険班担当者様に運営推進会議に出席頂いている。状況報告させて頂く中で相談させて頂いている。	市の福祉課介護保険班担当者様に運営推進会議に出席頂いている。状況報告させて頂く中で相談させて頂いている。	運営推進会議のメンバーとして介護保険課職員が参加しており、ホームの状況を知らせている。また、市福祉課担当者へ生活保護の方のホームの生活状況を知らせている。社会福祉協議会へ金銭管理を依頼している方がおり、協力関係を築いている。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	委員会で検討した内容を職員に口頭及び議事録を閲覧するようにしている。言葉の拘束などにも気を付け、職員同士で注意している。	委員会で検討した内容を職員に口頭及び議事録を閲覧するようにしている。言葉の拘束などにも気を付け、職員同士で注意している。	3カ月に1回、各ユニットで選任した委員が身体拘束委員会・虐待防止委員会を開催し、事例検討や現状報告をし、委員会の議事録を残して他の職員にも回覧して意識付けを図っている。職員全員がユマニチュード「優しさを伝えるケア」のDVDを閲覧し、実践状況を振り返りながら身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	報道等で暴力等の虐待のニュースが流れたりしたら、ミーティングや申し送りの際に話し合っている。	報道等で暴力等の虐待のニュースが流れたりしたら、ミーティングや申し送りの際に話し合っている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	研修の資料を閲覧出来るようにしている。	研修の資料を閲覧出来るようにしている。		

自己	外部	項目	自己評価		外部評価	
			実践状況(ユニット名: 壱番館)	実践状況(ユニット名: 貳番館)	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約の際に数項目の内容を説明し、同意を得ている。契約に関して1時間程かけている。	契約の際に数項目の内容を説明し、同意を得ている。契約に関して1時間程かけている。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	月1回の受診結果の報告や本人様の状況説明を行っている。ご家族が受診対応を出来ない時は施設に依頼があり対応も行っている。	月1回の受診結果の報告や本人様の状況説明を行っている。ご家族が受診対応を出来ない時は施設に依頼があり対応も行っている。	家族へ月1回の入居者の病院受診の結果を電話で知らせている。年3回広報誌を発行しており、入居者が行事に参加している様子の写真を掲載して発行しており、家族の安心と喜びになっている。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	不定期だが社長夫婦との意見交換の場を設けている。運営職員会でも各ユニットの意見、要望、施設内の故障箇所や危険個所の修理依頼を伝え情報共有を行っている。	不定期だが社長夫婦との意見交換の場を設けている。運営職員会でも各ユニットの意見、要望、施設内の故障箇所や危険個所の修理依頼を伝え情報共有を行っている。	全体ミーティングを月2回行い、各ユニットミーティングを毎月行っている。ミーティングでは入居者の状態や、必要な物品などについて話し合っている。経営層と話し合いを行っているが、人員不足傾向は続いており、既に1ユニットとデイサービスが閉鎖している。	職員のやる気やチームワークも良く、職員の手が足りない場合は、ユニット間の協力体制ができています。あらためて職場環境の改善に向け入居者や家族、職員の不安感を解消できるよう取り組むことを期待する。
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	スタッフ不足で1ユニットが閉鎖になった。資格取得にかかる費用、取得後は手当がつくようになった。インフルエンザ予防接種の費用も全額会社が負担している。	スタッフ不足で1ユニットが閉鎖になった。資格取得にかかる費用、取得後は手当がつくようになった。インフルエンザ予防接種の費用も全額会社が負担している。		

自己	外部	項目	自己評価		外部評価	
			実践状況(ユニット名: 壱番館)	実践状況(ユニット名: 貳番館)	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	施設内でコロナ感染者があり各ユニットでの交流が出来ず内部研修が出来ていない	施設内でコロナ感染者があり各ユニットでの交流が出来ず内部研修が出来ていない		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	市主催の福祉祭りに利用者様の参加は出来なかったが作品を展示することは出来た。また他の施設のスタッフとの交流は出来た。	市主催の福祉祭りに利用者様の参加は出来なかったが作品を展示することは出来た。また他の施設のスタッフとの交流は出来た。		
<b>II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>						
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	ケアプランの作成時ご本人様、ご家族の意見、要望を尋ね取り入れている。また月 I 回行っているミーティングで利用者様の状況を把握し、情報共有を行い対応を検討した上で実践している。	ケアプランの作成時ご本人様、ご家族の意見、要望を尋ね取り入れている。また月 I 回行っているミーティングで利用者様の状況を把握し、情報共有を行い対応を検討した上で実践している。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	相談担当からの情報や、前施設からの情報を元にご家族の要望等もお聞きしている。電話での対応も行っている。	相談担当からの情報や、前施設からの情報を元にご家族の要望等もお聞きしている。電話での対応も行っている。		

自己	外部	項目	自己評価		外部評価	
			実践状況(ユニット名: 壱番館)	実践状況(ユニット名: 弐番館)	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	サービスを導入する前に利用者様の情報を収集しご本人、ご家族が必要とされている支援を提供する努力をしている。状態に応じ介護用ベット、車椅子、歩行器の準備もしている。	サービスを導入する前に利用者様の情報を収集しご本人、ご家族が必要とされている支援を提供する努力をしている。状態に応じ介護用ベット、車椅子、歩行器の準備もしている。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	8名の利用者様の立場にたって一人ひとりに合ったケアに努めている。又個人の能力に合った手伝いをして頂いている。(洗濯物たたみ、拭き掃除、裁縫やコップ拭き等)	8名の利用者様の立場にたって一人ひとりに合ったケアに努めている。又個人の能力に合った手伝いをして頂いている。(洗濯物たたみ、拭き掃除、裁縫やコップ拭き等)		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	面会が出来るようになりご家族との交流も出来ている。母の日や誕生日には花を持参されたり、電話で会話したりしている。ご家族からの手紙や衣類などの贈り物も届く	面会が出来るようになりご家族との交流も出来ている。母の日や誕生日には花を持参されたり、電話で会話したりしている。ご家族からの手紙や衣類などの贈り物も届く		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	対面での面会のご家族のみと制限はあるが、県外の方や知人の方は窓越しで会って頂いている。地元の郵便局にも定期的に行っている利用者様もおられる	対面での面会のご家族のみと制限はあるが、県外の方や知人の方は窓越しで会って頂いている。地元の郵便局にも定期的に行っている利用者様もおられる	コロナ禍が5類になり、家族、友人等との面会は玄関のドア越しにて実施し、県外の家族は窓越しによる面会となっている。馴染みの美容室へ家族同伴にて連れて行くなど、馴染みの人や場所との関係が途切れないよう努めている。	

自己	外部	項目	自己評価		外部評価	
			実践状況(ユニット名: 壱番館)	実践状況(ユニット名: 貳番館)	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	見守りや声掛けをしながらひとり一人が孤立しないように支援している。毎日何らかの体操やゲーム等を行っている。食堂の席替えも利用者様の状況に応じて定期的に行っている。	見守りや声掛けをしながらひとり一人が孤立しないように支援している。毎日何らかの体操やゲーム等を行っている。食堂の席替えも利用者様の状況に応じて定期的に行っている。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	何かあれば対応出来るようにしている。以前入居していた利用者様のご家族が訪問して下さることもある。	何かあれば対応出来るようにしている。以前入居していた利用者様のご家族が訪問して下さることもある。		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>						
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	その都度スタッフ間で検討しその方に合った対応に努めている。	その都度スタッフ間で検討しその方に合った対応に努めている。	職員は入居者へ声掛けをして、顔の表情や仕草を観察し、入居者の思いや意向を汲み取るよう努めている。帰宅願望がある方には、入居者に寄り添って歩いたり、話をして落ち着いてもらえるよう支援している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご本人やご家族からの情報や前施設からの情報を得ている。	ご本人やご家族からの情報や前施設からの情報を得ている。		

自己	外部	項目	自己評価		外部評価	
			実践状況(ユニット名: 壱番館)	実践状況(ユニット名: 貳番館)	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	身体状態については日々観察している。変化があれば本人に聞き取りをしたり利用者様同士の会話に注意している。	身体状態については日々観察している。変化があれば本人に聞き取りをしたり利用者様同士の会話に注意している。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	月1回のミーティングで利用者様状況や新たな情報を共有しご本人様やご家族の意見を元にケアプランを作成している。またスタッフ間で現状の問題点を検討している。	ミーティングで利用者様の状況や新たに出た情報を共有して、本人様やご家族の意見を基にケアプランを作成している。また、スタッフ間で現状を踏まえた問題点を作成している。まだ反映が十分ではないので改善が必要。	ミーティングにて家族意見、入居者の情報を共有し、モニタリングを通じて介護計画を作成している。職員間で入居者の現状を踏まえた課題を検討しているが、介護計画に連動した記録や十分に反映した介護計画の策定はこれからである。	介護計画に連動した記録について、壱番館ユニットでも取り組みを始められており、今後、ホーム全体で職員が常に介護計画を念頭に置き、介護計画書に沿ったサービス提供や評価ができるようしくみを構築することが望ましい。
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	介護記録や申し送り帳に書いてスタッフ間で共有し必要な時は見直しにつなげている。口頭で情報共有も行っている。担当者を決め月末にモニタリングを行っている。	介護記録や申し送り帳に書いてスタッフ間で共有し必要な時は見直しにつなげている。口頭で情報共有も行っている。担当者を決め月末にモニタリングを行っている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	既存のサービスや教材などのマニュアルのようにはいかないことが多々ある。型にはめず、その都度試行錯誤しながら支援にあたっている。	既存のサービスや教材などのマニュアルのようにはいかないことが多々ある。型にはめず、その都度試行錯誤しながら支援にあたっている。		



自己	外部	項目	自己評価		外部評価	
			実践状況(ユニット名: 壱番館)	実践状況(ユニット名: 貳番館)	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	コロナウィルス感染防止の為積極的な交流は出来ていない	コロナウィルス感染防止の為積極的な交流は出来ていない		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	ご家族対応の利用者様は受診当日、日頃の状況やバイタル数値などを主治医に伝えて頂いている。施設対応の利用者様の受診結果はご家族に電話で報告している。	ご家族対応の利用者様は受診当日、日頃の状況やバイタル数値などを主治医に伝えて頂いている。施設対応の利用者様の受診結果はご家族に電話で報告している。	受診の際はバイタル等、入居者の状況をメモにして入居者の状態を医療機関へ伝えている。協力医への受診には、職員が同行支援、他科には家族同行を基本とし、家族同行ができない場合は職員が同行している。協力医への受診状況は本人に状態変化が無くても必ず家族へ電話連絡している。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	異変、急変の際はすぐに看護師に伝え診てもらっている。必要な時は受診をし、その後ご家族に報告している。看護師配置で対応がスムーズに出来ている。	異変、急変の際はすぐに看護師に伝え診てもらっている。必要な時は受診をし、その後ご家族に報告している。看護師配置で対応がスムーズに出来ている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている	入院時、情報提供書を病院にお渡ししている。入院期間中も電話による情報共有を行っている。	入院時、情報提供書を病院にお渡ししている。入院期間中も電話による情報共有を行っている。		

自己	外部	項目	自己評価		外部評価	
			実践状況(ユニット名: 壱番館)	実践状況(ユニット名: 弐番館)	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所ですることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	ご家族と施設間で十分に話し合い、状況が変化した際は連絡が取れるようにご協力頂いている。	ご家族と施設間で十分に話し合い、状況が変化した際は連絡が取れるようにご協力頂いている。	現在、ホームでの看取りは行わないことを家族に説明している。緊急時はホームの看護師に連絡したり、夜間帯は隣接ホームのユニット同士の連携を活かして対応するようにしている。医療措置が必要となった場合は病院や対応が可能な施設へ移設する支援を行っている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	コロナウィルス、インフルエンザ感染症については日頃から対応の仕方など学んでいるがBLSやAEDについては出来ていない。	コロナウィルス、インフルエンザ感染症については日頃から対応の仕方など学んでいるがBLSやAEDについては出来ていない。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を日常的に防火管理及び消火、避難訓練等を実施することにより、全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。 また、火災等を未然に防ぐための対策をしている		消防署立ち合いの避難訓練は、未実施である。今年度中に行う予定。	グループホーム翔里壱番館・弐番館、翔里第二グループと合同で避難訓練を実施している。令和5年3月15日、夜間想定避難訓練を職員と入居者と一緒に行っている。令和6年3月30日は消防署立会いの下で避難訓練を実施する予定である。尚、今年度は自然災害の訓練は実施されていない。現在、BCPは作成中とのことであった。	昨今、自然災害が増加傾向であり、土砂崩れ、上部からの溢水、床上浸水を考慮し、自然災害に関する訓練の実施を期待する。また、備蓄に関し、管理者を決め賞味期限・賞費期限を管理するよう期待する。BCPは作成中であるが、今後、職員と共有すると共に、地域へ協力を働きかけ、研修、訓練(シミュレーション)を実施することに期待する。
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>						
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	状況に応じた言葉かけ、声のトーンなどに気を付けている。希望があったら居室などで話を聞くようにしている。	状況に応じた言葉かけ、声のトーンなどに気を付けている。希望があったら居室などで話を聞くようにしている。	職員は、居室を訪れる際はノックをして声掛けし、プライバシーを損ねない言葉掛けに留意している。職員が入居者に「待って」と言う場合は理由を伝えている。不適切な言葉かけや対応があった場合は気づきをまとめて話し合い、意識付けを図っている。	ホームだより等に掲載する入居者の写真等に関し、家族より口頭で掲載の同意を得ているが、写真等は肖像権を含む重要なプライバシーであり、今後のトラブル防止の為に同意を得たことを書面で残しておくことが望ましい。

自己	外部	項目	自己評価		外部評価	
			実践状況(ユニット名: 壱番館)	実践状況(ユニット名: 貳番館)	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	ご本人の思いや希望を傾聴し、自己決定したことについては実行して頂けるよう働きかけている。ご家族にも情報提供している。	ご本人の思いや希望を傾聴し、自己決定したことについては実行して頂けるよう働きかけている。ご家族にも情報提供している。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	施設のスケジュールはあるが、本人様の希望に沿って支援している。また、体調などに合わせて一人ひとりのペースで過ごしていただくようにしている。	施設のスケジュールはあるが、本人様の希望に沿って支援している。また、体調などに合わせて一人ひとりのペースで過ごしていただくようにしている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	散髪は定期的に行っている。白髪染めを希望の方もおられ美容室へお連れしている。衣替えも行っていて不足分はご家族にお伝えし、揃えて頂くようにしている。	散髪は定期的に行っている。白髪染めを希望の方もおられ美容室へお連れしている。衣替えも行っていて不足分はご家族にお伝えし、揃えて頂くようにしている。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	骨なし処理の魚を利用して食べやすくしたり、季節の物(芋も茎、つわ、フキ)の皮むきなどを手伝って頂いている。刻み食やお粥等の対応も行っている。いづれを考えて食材も使っている。	骨なし処理の魚を利用して食べやすくしたり、季節の物(芋も茎、つわ、フキ)の皮むきなどを手伝って頂いている。刻み食やお粥等の対応も行っている。いづれを考えて食材も使っている。	職員が当日の食材を近隣のスーパーへ購入に行き、旬の野菜を使用して調理している。入居者の嚥下状態により、刻み食や粥等を提供している。献立は各ユニットで立て、行事食では、七夕まつりはそうめん流し、敬老会はバイキング、弁当、ひな祭りはひな人形を模した寿司など提供し、食事を楽しまれている。食事は、味・量・固さ色合い等を職員が検査し確認している。	

自己	外部	項目	自己評価		外部評価	
			実践状況(ユニット名: 壱番館)	実践状況(ユニット名: 弐番館)	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	水分は食事以外に10時と3時のお茶の時間を設けている。また清拭時や入浴後もジュースや牛乳など好みの物を飲んで頂いている。夜間帯も自由に水分補給が出来るようにご自身のコップに湯冷ましを準備している。	水分は食事以外に10時と3時のお茶の時間を設けている。また清拭時や入浴後もジュースや牛乳など好みの物を飲んで頂いている。夜間帯も自由に水分補給が出来るようにご自身のコップに湯冷ましを準備している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	職員が側について歯磨きを見守りながら声掛けも行っている。毎日洗浄剤で清潔保持に努めている。定期的に歯ブラシの交換も行っている。	職員が側について歯磨きを見守りながら声掛けも行っている。毎日洗浄剤で清潔保持に努めている。定期的に歯ブラシの交換も行っている。		
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	食前やおやつの前など時間を決めて声掛けを行っている。また、チェック表をつける事で個人のパターンを把握するようにしている。	食前やおやつの前など時間を決めて声掛けを行っている。また、チェック表をつける事で個人のパターンを把握するようにしている。	入居者は布パンツ・リハビリパンツにパットを使用し、排泄チェック表に記録して各入居者の排泄パターンに合わせて誘導しトイレで排泄ができるよう支援している。夜間はパットの大きさを変更し、独歩の方はナースコールを押したらトイレへ誘導している。職員は巡回しながら入居者の様子を見て、熟睡している方には安眠して頂くよう配慮している。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	毎日体操などをして体を動かして頂いている。便秘気味の方は水分や牛乳を飲んで頂いている。また、受診の際主治医に相談して内服の処方もして頂いている。	毎日体操などをして体を動かして頂いている。便秘気味の方は水分や牛乳を飲んで頂いている。また、受診の際主治医に相談して内服の処方もして頂いている。		

自己	外部	項目	自己評価		外部評価	
			実践状況(ユニット名: 壱番館)	実践状況(ユニット名: 弐番館)	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	午後からの入浴となっており、バイタルチェック後、数値、体調不良等がない事を確認後入浴して頂いている。本人様が入りたくないと言われる時は無理強いしないようにしている。	午後からの入浴となっており、バイタルチェック後、数値、体調不良等がない事を確認後入浴して頂いている。本人様が入りたくないと言われる時は無理強いしないようにしている。	入浴は週3回を基本とし、入浴前にバイタルチェックをして、体調不良の方には入浴できない理由を説明し、納得して頂いた上で清拭対応をしている。風呂場や脱衣場はエアコンや温風ヒーターなどで温度管理し、気持ちよく入浴できるよう配慮している。皮膚疾患のある方には入浴後に病院で処方したクリームを塗布し気持ちよく過ごせるように努めている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	お部屋の温度調節に気を配り休むのに丁度良い温度にするように心がけている。季節に応じて寝具も調整している。尿パットや吸収パットをすることで安心して眠れると言う利用者様には購入して使用して頂いている。	お部屋の温度調節に気を配り休むのに丁度良い温度にするように心がけている。季節に応じて寝具も調整している。尿パットや吸収パットをすることで安心して眠れると言う利用者様には購入して使用して頂いている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	受診の都度内服の変更があれば、申し送り帳や介護記録、受診結果ノートに記載している。また利用者様全員の内服の文献表をファイルにまとめ、いつでも見れるようにしている。服薬の際はスタッフ間で確認後利用者様の前で声に出して日付けや名前、朝、昼、晩の確認をしてから内服して頂く様に徹底している。	受診の都度内服の変更があれば、申し送り帳や介護記録、受診結果ノートに記載している。また利用者様全員の内服の文献表をファイルにまとめ、いつでも見れるようにしている。服薬の際はスタッフ間で確認後利用者様の前で声に出して日付けや名前、朝、昼、晩の確認をしてから内服して頂く様に徹底している。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	入居前の事前調査で、ある程度利用者様の情報を得ている。出来ること(洗濯物たたみ、拭き掃除)はご本人様の力を発揮して頂いている。新聞や図書館本等の読書をされたり、ゲームや体操などにも参加して頂いている。	入居前の事前調査で、ある程度利用者様の情報を得ている。出来ること(洗濯物たたみ、拭き掃除)はご本人様の力を発揮して頂いている。新聞や図書館本等の読書をされたり、ゲームや体操などにも参加して頂いている。		

自己	外部	項目	自己評価		外部評価	
			実践状況(ユニット名: 壱番館)	実践状況(ユニット名: 貳番館)	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	今もコロナ感染や季節によって出来ないが暖かい日は戸外へ出て歌ったり、写真を撮ったり気分転換出来るようにしている。	今もコロナ感染や季節によって出来ないが暖かい日は戸外へ出て歌ったり、写真を撮ったり気分転換出来るようにしている。	日曜日は職員が入居者と触れ合う機会を多く持てるよう調整し、各ユニットの職員と相談して、近隣の公園へドライブに出かけ、フキを摘んで来て食事の付け合わせにするなど楽しまれている。好天時には駐車場にテーブルを出し、お茶やおやつ出して気分転換を図る機会を設けている。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	施設内での個人の所持金を持つことは禁止させて頂いているが利用者様が必要とする物、希望の品があればスタッフが代行して購入している。	施設内での個人の所持金を持つことは禁止させて頂いているが利用者様が必要とする物、希望の品があればスタッフが代行して購入している。		
51		○電話や手紙の支援	電話はご本人様の希望でかけたり、ご家族からの電話の際はお話をして頂いている。ご家族から定期的に手紙が届く利用者様もおられる。ご家族が面会に来られた時に県外におられる息子様とラインのビデオ通話をして頂く事もあった。	電話はご本人様の希望でかけたり、ご家族からの電話の際はお話をして頂いている。ご家族から定期的に手紙が届く利用者様もおられる。ご家族が面会に来られた時に県外におられる息子様とラインのビデオ通話をして頂く事もあった。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節の花を飾ったり、月ごとにカレンダーを張り替えたり、鯉のぼりや七夕飾り、雛飾り等その時期に合った物を飾っている。季節に合った果物などの塗り絵をして頂いて廊下の壁に貼っている。	季節の花を飾ったり、月ごとにカレンダーを張り替えたり、鯉のぼりや七夕飾り、雛飾り等その時期に合った物を飾っている。季節に合った果物などの塗り絵をして頂いて廊下の壁に貼っている。	玄関に観葉植物を置き、玄関口の広い廊下には、ソファや季節の飾り物(お雛様の段飾りなど)を置いて季節を感じられるよう配慮している。共用空間は、毎朝、掃除機を掛け、EM菌を用いてモップで拭きによる掃除を行っており、臭気は無く、清潔保持ができています。	

自己	外部	項目	自己評価		外部評価	
			実践状況(ユニット名: 壱番館)	実践状況(ユニット名: 弐番館)	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	お互いの居室への行き来は物盗られ妄想の関係がありされていない。その他自由に居室で読書をしたり、お昼寝をしたりゆっくり過ごされる事も多い。	お互いの居室への行き来は物盗られ妄想の関係がありされていない。その他自由に居室で読書をしたり、お昼寝をしたりゆっくり過ごされる事も多い。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	なるべく自宅で使用されていた物を持参して頂いているので、それに合わせたお部屋づくりを心がけている。ペットの向きやペットの交換等も状態の変化に応じて行っている。	なるべく自宅で使用されていた物を持参して頂いているので、それに合わせたお部屋づくりを心がけている。ペットの向きやペットの交換等も状態の変化に応じて行っている。	居室は、毎朝、掃除機を掛け、EM菌によるモップで拭きで清掃を行っている。入居時、入居者及び家族と相談して三段ボックス、イス、置時計、家族の写真、花の造花などが持ち込まれている。枕元に子どもの手紙を置いたり、経本やティッシュ箱を置くなど入居者個々に合わせた居室となっている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	トイレの場所やご自分の居室が分かるように名前を大きく書いた紙を居室の入口に貼ったり、トイレの表示を大きくしたり迷わないように工夫している。スタッフで話し合いながら安全に配慮し対応している。	トイレの場所やご自分の居室が分かるように名前を大きく書いた紙を居室の入口に貼ったり、トイレの表示を大きくしたり迷わないように工夫している。スタッフで話し合いながら安全に配慮し対応している。		